2011年度の取り組み

『RVR ROADEST』

三菱自動車工業株式会社

2011年6月13日

2011年度の位置づけ

- 震災影響を克服し生産は回復
- 中期経営計画の目標を堅持

2011～2013年度中期経営計画「ジャンプ 2013」
基本方針:「成 長 と 飛 躍」

事業戦略

- 新興市場と環境対応への経営資源の集中
- コスト構造の抜本的な改革
- 事業提携による収益拡大機会の追求
- 経営基盤の強化

2013年度業績目標

- 販売台数: 1,370千台
- 売上高: 25,000億円
- 営業利益: 900億円
- 当期利益: 450億円

2011年度生産見通し

MITSUBISHI MOTORS

年度生産台数見通しは、震災前計画を上回る台数まで回復
～上期の遅れを、生産正常化する下期で挽回～

グローバル生産　【前年比　6%の増加】

- 2011年度　生産計画 ： 117万台

国内生産　【前年比　上期：2割減、下期：2割増、年度：数%の増加】

- 4月生産実績： 計画比※1 62%、　5月：110%、6月：115%と計画を上回る見込み
- 上期は、車種・仕様に制約は残るものの、計画比約 9割の見通し
- 生産が正常化する下期は、計画を上回る生産レベルを継続し挽回を図る
- 年度見通しは、ほぼ震災前の計画レベルの台数を目指す

※1 震災前の社内計画

海外生産　【前年比　上期、下期ともに約 1割の増加】

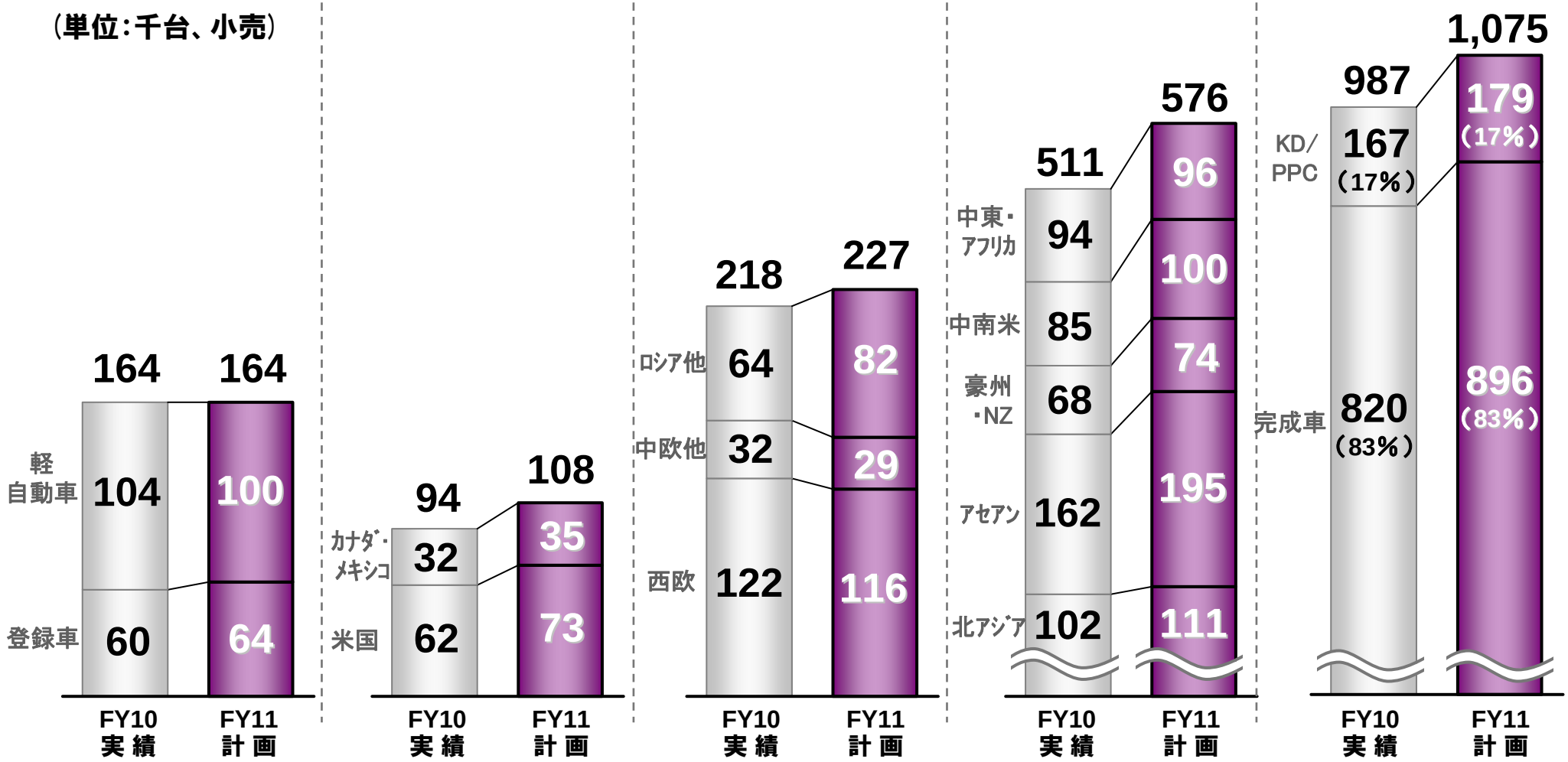
- 上期、下期ともに震災前の計画を上回る見通し

（補足：2010年度　生産実績 ： 110万台※2）　※2 公表値118万台から海外生産の他社ブランド車を除く

2011年度地域別販売台数計画【前年度対比】

MITSUBISHI MOTORS

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
±0 (ー)	+14 (+15%)	+ 9 (+4%)	+65 (+13%)	+88 (+9%)



※注）販売台数は11年度から新カウント採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。（三菱ブランド車のみカウント、添付資料ご参照）

2011年度主要市場における取り組み

MITSUBISHI MOTORS

日本
- 震災被災地区販売ネットワークの修復
- 2011年2月投入「デリカD:2」、主力の「RVR」「デリカD:5」の拡販
- 軽商用電気自動車「MINICAB-MiEV」の投入（2011年内）

デリカ D:2

米国
- 2010年10月に投入し好調な「アウトランダースポーツ」の拡販
- 拡幅版北米仕様「i-MiEV」の投入（2011年11月）

欧州
- 好評の「ASX」の拡販
- ロシア工場でのSUV現地生産拡大
- EV拡販や主力車種の低CO_2化推進

米国名：アウトランダースポーツ
欧州名：ASX、日本名；RVR

中国
- 広州汽車との新合弁会社設立推進
- 「パジェロスポーツ」投入（2011年秋）

タイ
- 主力車種「トライトン」「パジェロスポーツ」の増産・拡販
- 第3工場建設と「グローバルスモール」の投入（2012年3月）

パジェロ スポーツ

ブラジル
- 新車投入などの現地パートナーとの協力関係強化検討

2011年度業績見通し 【前年度対比】

MITSUBISHI MOTORS

販売台数増、増収、増益を目指す（前年度対比）

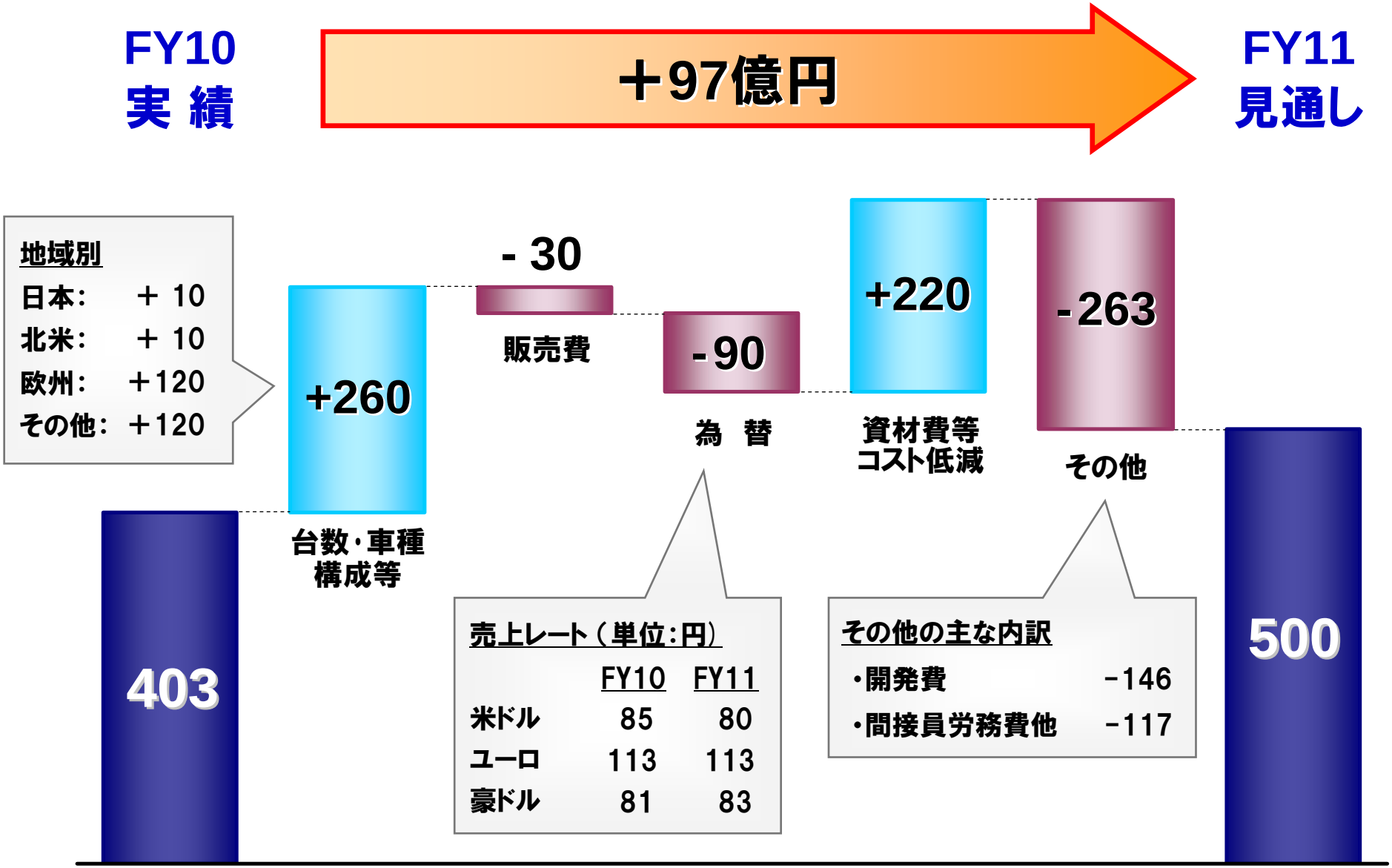
（単位：億円，千台）

	FY10 実績①	FY11 見通し②	差 ②－①
売　上　高	18,285	19,500	+1,215
営業利益	403	500	+97
経常利益	389	400	+11
当期利益	156	200	+44
販売台数（小売）	987	1,075	+88
販売台数（卸売）	1,098	1,173	+75

※注）販売台数は11年度から新カウント採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。（添付資料ご参照）

2011年度営業利益見通し増減分析 【前年度対比】

（単位：億円）



今後の電気自動車の方向性

環境問題への対応

走行中のCO_2排出ゼロ
究極の環境対応車

日本・欧州を中心に2010年度までに既に約１万台を販売

⇒お客様から環境性能に高評価

＋

エネルギー問題への貢献

【被災地の声】

東日本大震災後、災害支援車両として約90台の「i-MiEV」が被災地へ

⇒現場の声をＥＶの進化へ繋げる

【今後の方向性】

⇒蓄電・給電機能
- 移動電源としての役割
- ＥＶ･ＰＨＥＶに蓄えた電気を生活へ使用
- 1,500W家電への早期対応

⇒スマートグリッドへの対応
- 夜間充電/昼間走行で昼夜の電力使用量のギャップを埋める

電気自動車の展開拡大

	2009年度 販売実績：1.6千台	2010年度 販売実績：8.2千台	2011年度 販売計画：25千台
日本	09年7月～ フリート販売 販売実績：1.4千台	10年4月～ 一般販売 販売実績：2.6千台	 軽商用電気自動車 『MINICAB-MiEV』 11年～（予約受付中） 軽商用EV
海外	09年秋～ 右ハンドル車（香港、イギリス他） 欧州向け『i-MiEV』 販売実績：0.2千台	10年10月～ 欧州（左ハンドル市場含む） PSAプジョー・シトロエン社向け 販売実績：5.6千台	 北米向け『i-MiEV』 11年11月～（予約受付中） 北米

パートナーとの事業提携推進

アライアンスの積極追求により
利益機会の増大・収益機会の拡大

夏季節電に向けた取り組み

MITSUBISHI MOTORS

ピーク電力低減目標　前年比15％低減を目指す（東京電力・東北電力管内）

- 「節電対策本部」を設置し、推進・フォロー・水平展開
- 全国レベルでの三菱自動車グループ一体となった取り組みを推進

【具体的取り組み】

- 夏季期間休日の変更
  - 本社・全事業所の休日を　土日 ⇒ 木金へ【7～9月】
    （日本自動車工業会の方針に協力）
- 地道な節電活動強化
  - オフィス環境再編（空調28℃、照明間引き、エレベーター・自販機の一部休止、効果の見える化、節電担当配置　他）
  - 販売会社ショールーム照明の段階的LED化
  - 家庭での実行支援（ﾉｳﾊｳ紹介、節電ｺﾝﾍﾟによる啓発　他）
- 仕事やプライベートでの行動スタイル変革
  - クールビズ前倒し
  - 休日出勤者の集約・フリーデスク化、早朝フレックス・休暇活用 他

まとめ

2011年度見通し

販売台数増、増収、増益を目指す（前年度対比）

- 販 売 台 数（小売）：前年度比 9％増加の1,075千台　北米・欧州・アジア他で前年度を上回る
- 販 売 台 数（卸売）：前年度比 7％増加の1,173千台　北米・アジア他で前年度を上回る
- 売　上　高：前年度比 7％増収の 1兆9,500億円　卸売台数増加が寄与
- 利　　益：営業利益 500億円、経常利益 400億円、当期利益 200億円

  前年度比でそれぞれ 24%、3%、28%の増益

  円高影響や開発費の増加を販売台数増加やコスト低減などで打ち返す

2011年度生産見通し

年度生産台数見通しは、震災前計画を上回る台数まで回復
～上期の遅れを、生産正常化する下期で挽回～

添 付 資 料

『三菱 コンセプト グローバル スモール』

台数カウント定義の変更について【お知らせ】

MITSUBISHI MOTORS

変更内容

新カウント（2011年度から）

・小売台数：自社ブランド車のみを小売台数とする。

「ロシア・ウクライナ」を「ロシア他（ロシア・ウクライナ・カザフスタン）」へ変更。

・卸売台数：卸売台数にOEM供給台数を含める。

旧カウント（2010年度以前）

・小売台数：当社が設計した商品で、ロイヤリティ収入がある場合は他社ブランドも小売台数に含める。

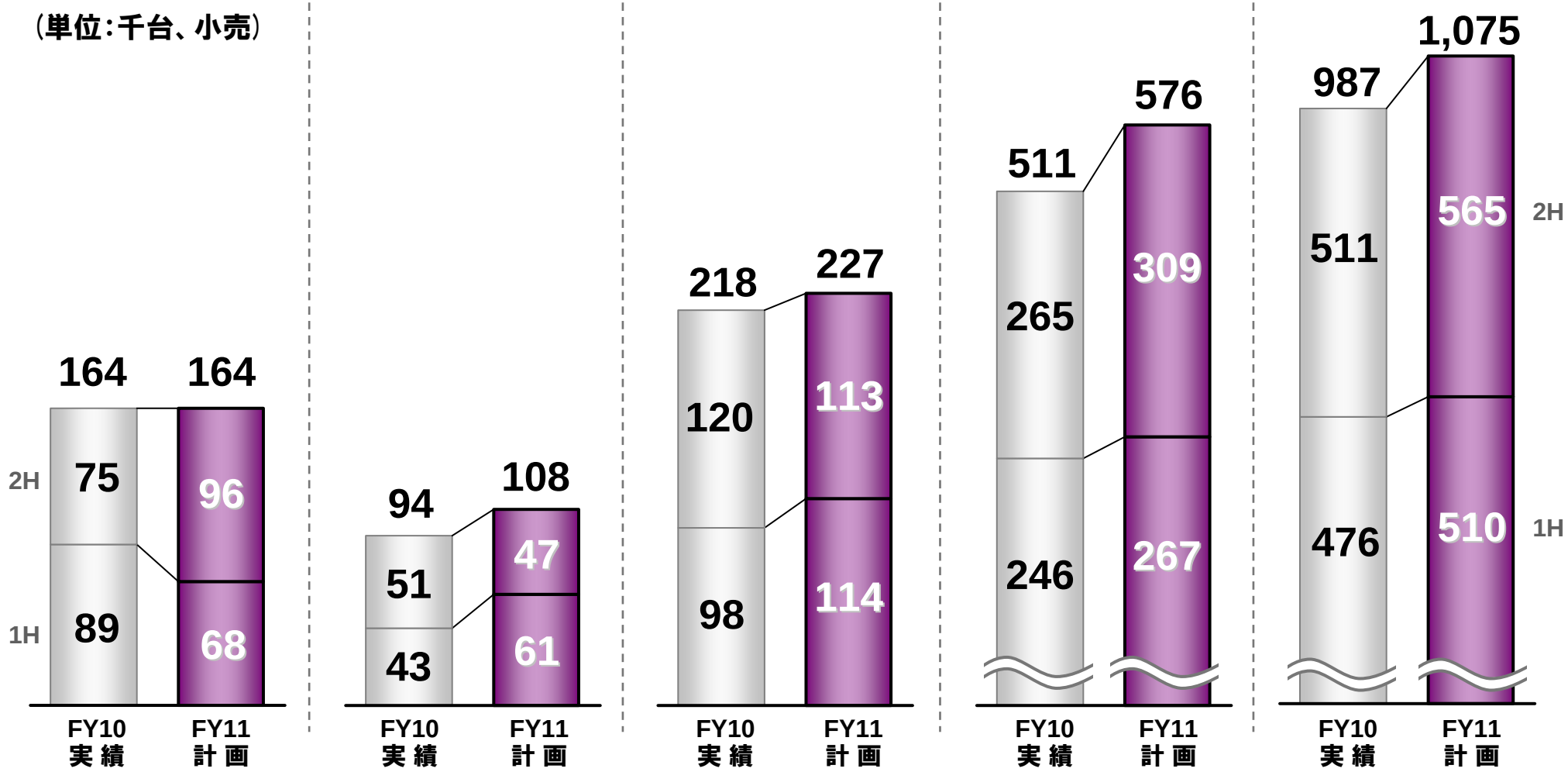
・卸売台数：OEM供給台数を除く。

FY2010（実績）	旧カウント		増減台数		新カウント
小売台数	1,105千台	－	118千台	＝	987千台
卸売台数	1,045千台	＋	53千台	＝	1,098千台

2011年度 地域別販売台数計画【上期/下期別、前年度対比】

日 本	北 米	欧 州	アジア・その他地域	合 計
《前年度実績対比増減》				
±0 (ー)	+14 (+15%)	+ 9 (+4%)	+65 (+13%)	+88 (+9%)

（単位：千台、小売）



※注）販売台数は11年度から新カウント採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。（三菱ブランド車のみカウント、添付資料ご参照）

2011年度業績見通しサマリー 【10年度/11年度、上期/下期別】

MITSUBISHI MOTORS

（単位：億円,千台）

	FY2010			FY2011		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	下期計画	通期計画
売上高	8,647	9,638	18,285	8,600	10,900	19,500
営業利益	69	334	403	50	450	500
経常利益	70	319	389	0	400	400
当期利益	-49	205	156	-100	300	200
販売台数（小売）	476	511	987	510	565	1,075
販売台数（卸売）	521	577	1,098	505	668	1,173

※注）販売台数は11年度から新カウント採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。（添付資料ご参照）

2011年度 地域別業績見通し 【前年度対比】

MITSUBISHI MOTORS

（単位：億円）

	FY10 実績①	FY11 見通し②	増減 ②-①
売 上 高	18,285	19,500	+1,215
- 日本	3,633	3,700	+67
- 北米	1,898	1,900	+2
- 欧州	4,900	5,100	+200
- アジア・その他	7,854	8,800	+946
営 業 利 益	403	500	+97
- 日本	51	70	+19
- 北米	-279	-330	-51
- 欧州	-264	-170	+94
- アジア・その他	895	930	+35

【ご参考】世界戦略車『グローバルスモール』の投入

- 『グローバルスモール』のコンセプト
  - 「小型」「低価格」「低燃費」の世界戦略車
  - 需要の伸長が見込まれる新興国、ダウンサイジング化が進む先進国双方へ投入
  - 三菱モデルラインナップのエントリーモデル 大人5人の居住空間を確保したスモールカー
  - 新開発1.0ℓ & 1.2ℓ 3気筒エンジン ＋
    可変バルブタイミング機構 (MIVEC※1)
    アイドルストップシステム (AS&G※2)
    減速エネルギー回生システム
    空気の抵抗低減と車体の軽量化
- 生産工場
  - タイに建設中のMMTh第3工場
  - 中国での現地生産を推進
- 販売開始
  - タイ市場に投入（2012年3月）
  - その後、タイから世界各国へ出荷

『三菱 コンセプト グローバル スモール』

MMTh 建設中の新工場

※1 MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system
※2 AS&G : Auto Stop & Go

【ご参考】コンパクトSUV「RVR」にROADEST登場

RVR ROADEST

【ご参考】コンパクト1BOX　デリカ D:2 発売

Big

みんなで乗っても、広い！

運転しやすいコンパクトカーなのに、
5人で乗ってもゆったりの室内空間。
Hウォークスルーで、
シート間の移動だってスムーズ。

Useful

お買い物やお出かけにも、便利！

両側スライドドアだから、
狭い場所での乗り降りにも便利。
あんなところにも、こんなところにも、
便利な収納スペースがいっぱい。

Eco

おサイフにも、環境にも、エコ！

クラストップ*1の低燃費だから、
環境にもやさしくてうれしい。
みんなの安全も考えた、安心機能も充実。

*1：クラス＝コンパクトハイトワゴン（[illegible]1.5ℓ以下・全長1,550mm以上の2列乗車5ドアワゴン）。2011年2月現在。自社調べ。

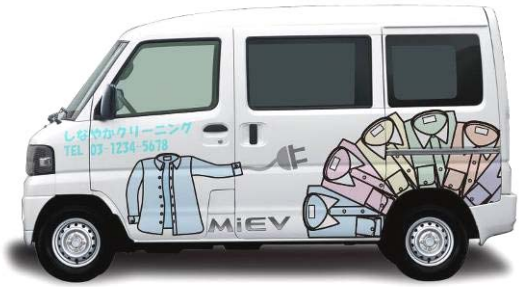
【ご参考】電気自動車の普及へ向けて

電気自動車なら、“運ぶ”が全て新しくなる。

MINICAB - MiEV 2011年内にデビュー予定

Photo:実証試験車

積載性	最大積載量はガソリン車と同じ350kg(2名乗車時)	たっぷりスペースで荷物がしっかり積める
走行性	モーターは、ゼロ回転から最大トルクを発生	重い荷物を積んでも発進ラクラク
静粛性	モーターだからとっても静か	早朝や深夜でも騒音が気にならない
信頼性	i-MiEVで培った技術が活きている	毎日安心して乗ることができる
経済性	ガソリン不要でランニングコストを軽減	電気代だけで、経済的



電気自動車なら、"運ぶ"がすべて新しくなる。

MINICAB MiEV

2011年内に、デビュー予定。

軽商用電気自動車『MINICAB-MiEV』
（ラッピングイメージ）

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提（仮定）を用いています。これらの記述または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth
MITSUBISHI MOTORS